



発行所
新潟市江南区北山1037番地
新潟明訓高等学校同窓会
会長 渡辺 惇 夫

- 綱 領
- 一 母校愛精神の昂揚
 - 二 伝統保持と敬愛
 - 三 会員の連繋と相互扶助

ご挨拶

― 母校の歴史と伝統を大切に

さらなる飛躍を―



同窓会長

渡 辺 惇 夫

日増しに秋も深まり朝夕には寒さを感じる頃となり、今年も毎年恒例の同窓会総会開催の日を迎えることとなりました。

同窓会員の皆様には日々益々ご健勝にてお過ごしのことと拝察し、心からお喜びを申し上げます。

常日頃は当同窓会の諸活動並びに母校の発展向上のために温かい

ご理解とご協力をいただき、深く感謝を申し上げます。

お陰様で我が同窓会も多数の会員を擁し、年々活動実績を積み上げ、その存在感を増しつつあり、母校の発展

とともに内外に高い評価をいただいておりますことは我々の大きな喜びであり、誇りでもあります。

このことは偏に会員

皆様の変わらぬ母校愛と、日頃のご協力の賜物であると共に、加えて学校ご当局の弛まぬご努力と関係者の皆様のご支援とご協力があつてのことであり、ここに改めて深く敬意を表し感謝の意を表する次第であります。

今後我々は先輩各位の築いた輝かしい実績と母校の建学の精神を大切に継承しながら母校の卒業生としての誇りを持ち、同窓会と母校の発展のため努力していかねばなりません。

さて、ご承知のように我が母校は大正10年の創立以来、今年で実に95年の歴史を有し、他校に誇れる立派な伝統と実績を積み重ねて

参りました。そして近年では今後の新しい時代に対応し、更なる発展を期すために創設された新潟明訓中学校も10年目を迎え、中高一貫教育における幅ひろい人材教育の実践に努力すると共に、難関大学への入学に挑戦し、着実に合格実績を挙げております。

また、部活動に於きまして運動部、文化部共に各種大会等で活躍をしております。

今、我が同窓会としまして、これらの母校の大活躍に相応しい体質の強化と組織の拡充発展が求められており、それにむけて努力しておるところであります。幸いにも我が同窓会

には年代を問わず多くの優れた人材が広く各界各層に於いて指導的立場で活躍しておられます。この多くの皆様から母校の現状を知っていただくとも、大きな関心を持っていただき、互いに同志的意識を更に高め、協力体制を確立することにより同窓会の活性化と

発展に繋げていかなくてはなりません。今後共、同窓会員の皆様のご指導とご協力を心からお願い申し上げます。最後に母校のますますの発展と、同窓会の皆様の一層のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

閉塞感の打破



理事長

伴 昭 彦

同窓会員の皆様には御元気で御活躍のこととお喜び申し上げます。皆様のお力添えによりまして新潟明訓高等学校・新潟明訓中学校は、進学、スポーツに文化活動に素晴らしい成績

を挙げておりこれからも益々伸びてゆかと思えます。一方世の中は中々経済状況も好転せず、思うようにゆきません。仕事も得意な仕事とは限らず希望する仕事ができるとは限り

ません。それでも一生懸命やっていたら必ず得るところがあります。伝教大師最澄は「二隅を照らす、また国宝なり」と言われ、天台宗三千院門跡の小堀光詮さんは「与えられた仕事でひかり輝く、そのことが世の中で非常に役に立つ」と言われました。

そのことは大変いいことなのですが、この世の中が暗く問題が多いと閉塞感にとらわれて自分の将来が不幸になるのではないか、という不安にとらわれることもあります。

ドストエフスキーは、「人間が不幸なのは、自分が幸福であることを知らないからだ。ただそれだけの理由なのだ」と言っておられます。作家の三浦綾子さんは新婚時代が最高に豊かで幸せな時代だったと言っておられます。それは家の中

に何もなかったから最高に幸せだった。一つ一つ揃えてゆくことで

一つづつ幸せになってゆけたからだそうです。寺田寅彦先生は、

「健康な人は病気になる心配があるが、病人は回復するという楽しみがある」と言われました。どんなことでもプラスに見える部分とマイナスに見える部分

があります。どちらを見たら人生楽しくなるでしょう。幸せを感じるかどうかは起きる出来事が決める訳ではありません。環境が決める訳ではありません。

ドイツの哲学者ショーペンハウエルは「幸せを数えたらあなたはすぐに幸せになれる」と言いました。

不幸な人は不幸を見つけてのがうまく、幸せな人は幸せを見つけてのがうまいのです。私達が普通に歩けるとか手や指が動くこと、

食事をしたり話ができたり、見えたりすることとは当り前ではなくて本当に有難いことではないでしょうか。

作家のひすいこたろうさんは次のような質問をされました。

「もし失うことになったら、とつても悲しくなってしまう人やことを三つ以上あげて、それを失った状態を三十分だけ想像してみて

下さい」というのです。

大切な人やことを失うということを想像すると確かに大変なことですが、そういう幸せな環境で、自分の仕事を一生懸命やっていたら閉塞感でなく必ず一隅を照らす輝きとなるでしょう。

皆様の御活躍とお幸せをお祈りいたします。

明訓高校の新しい類型と入試



学校長 大滝 祐 幸

高校は、平成二十九年度入学生から、外部中学からの進学者のⅠ類(二百人)、中高一貫内部進学者のⅡ類

(百二十人)、スポーツで優秀な成績を有する生徒のⅢ類(四十人)という三つの類型となります。

ⅠⅡ類は共に、難関大学・学科を始めとする大学進学を目指した学力養成を行います。

もちろん、グローバル教育の一層の推進と体育系・文化系部活動を始めとした様々な活動にも取り組み、人間力を高めていきます。Ⅲ類は、大学進学を目指すことはもちろんですが、全国大会に出場して活躍することを目指します。

生徒の募集内容ですが、Ⅰ類は併願できない生徒を百十人、併願できる生徒を九十人募集しますが、ⅡⅢ類の百六十人は併願ができません。入学者全体を見ると、併願による入学者は全体の四分の一となります。

入試の方法ですが、数年前から、推薦入試や三月入試は廃止し、入試は一回だけとなっています。Ⅰ類は二月一日に全員に学力試験

を実施し、Ⅲ類は二日に面接と課題作文を実施します。なお、Ⅱ類は中高一貫のため入試は行いません。

これらの入試改革は、近年の明訓高校生の変化に対応したものであります。

その変化とは、中高一貫の充実・拡大はもちろんのことですが、高入生への進学指導の充実と、文武両道の活性化の中で、難関大学・学科を始めとする、より高い目標を目指す生徒の増加が顕著となってきたことなどであります。

これらは、間近に百年を迎える歴史の中で積み重ねてきた伝統の賜であると共に、全国で活躍されている同窓生の皆さんのお陰であります。

これからも、常に進化し続ける明訓に今更以上にお力添えをお願いいたします。



エンパワーメントプログラムの様子(その2)

様なものの考え方を知らず。プログラムの最終日には、生徒が自分の夢や5日間で学んだことについて英語でプレゼンテーションをします。こうした経験は、生徒が将来を考えるきっかけになっていくと感じます。英語の習得についてですが、この5日間だけで英語が聴けるようになり、話せ

るようになるわけではありませぬ。しかし、英語で相手の考えを理解して自分の考えを伝えるという密度の濃い時間を経験すること、普段の英語の学習に向かう姿勢に変化が生まれることを期待しています。プログラムに参加した137名の明訓生の今後の成長と活躍がとても楽しみです。

MEGA 3

海外研修

昨年度の海外研修はこれまでに行っていない新しい取り組みを行いました。一昨年度まで実施していた中高一貫生の11月のカナダ研修と高校1年生の希望者が参加していた3月のアメリカ研修とを統合・拡大して、5つの研修先から生徒が選んで参加する選択型の海外研修として実施しました。5つの研修先は、アメリカ東海岸(ボストン・ニューヨーク)、アメリカ西海岸(ロサンゼルス)、カナダ(ビクトリア)、オーストラリア(ブリスベン)そして、シンガポール・マレーシア・ブルネイです。時期は、3月5日から16日にかけて9日から11日間の日程でした。今回、参加したのは、高校1年生の中高一貫生全員と高入生の希望生の合計118名で、アメリカ東海岸に39名、アメリカ西海岸に29名、カナダに28名、オーストラリアに18名、シンガポール・マレーシア・ブル

ネイに4名が行きました。アメリカ東海岸の活動は、ボストンでのホームステイや寮生活、語学研修、一日の班別自由行動やマサチューセッツ工科大学やハーバード大学の見学と学生との質疑応答、ニューヨークでの国連本部やグランドゼロの見学、ニューヨークで働く社会人との食事会などです。アメリカ西海岸の活動は、ロサンゼルス郊外でのホームステイや語学研修、カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校や日系博物館、サイエンスセンターの見学、現地日系企業の訪問、半日の班別自由行動などです。カナダでの活動は、ビクトリアでのホームステイやバス通学と語学研修、自然公園の散策、ロイヤルロー

ズ大学での講義と見学、先住民文化の体験などです。オーストラリアでの活動は、現地の高校での授業と高校生との交流、コアラの病院の見学、海洋研究施設での研修や野生動物の観察などです。東

南アジアでの活動は、シンガポールで戦没記念碑や企業訪問、ナイトサファリなど、マレーシアではホームステイ、ブルネイでは王宮資料館や水上集落の見学やホームステイ、企業訪問などです。



アメリカのマサチューセッツ工科大学のキャンパスにて



カナダのクレイクダロック城の前で



マレーシアのホームステイ先にて

この新しい取り組みでは、研修先ごとに異なる活動内容から生徒が研修先を選んで参加し、その成果を互いに報告し合って共有することや学びを深めることを目指しています。参加した生徒は、高校2年生になり、新しい気持ちで新年度をスタートしています。また、各研修先の代表生徒は、今年度の高校1年生に対して研修内容のプレゼンテーションを行いました。

この新しい取り組みでは、研修先ごとに異なる活動内容から生徒が研修先を選んで参加し、その成果を互いに報告し合って共有することや学びを深めることを目指しています。参加した生徒は、高校2年生になり、新しい気持ちで新年度をスタートしています。また、各研修先の代表生徒は、今年度の高校1年生に対して研修内容のプレゼンテーションを行いました。

学校教育田での活動は、今年で3年目を迎えることができました。本年度は5月17日に田植え、9月15日に稲刈りが行われました。中学1年生は明訓中入学して初めての田植

明訓中学校より報告 田植えと稲刈り実施



田植え (5月17日)

えと稲刈りを楽しんでいました。中学3年生は、今年で3回目の最



稲刈り (9月15日)

後の稲刈りになりましたが、3年間の集大成と言うべき手際の良さでスムーズに活動を終えることができました。

平成28年度中学校トレッキング

中学一年生

『立志式・弥彦山登山』に向けて

10月14日(金)に中学校はグローバル教育の一環として「新潟県を探索する、明訓の歴史を探索」ことを目標とし、第一学年は弥彦明訓校の碑において立志式を行い、弥彦山登山を実行しました。二年

現在の校舎へ道のりをたどりました。三学年は大倉山登山を実施し、山頂から新潟平野を望み、明訓の新潟での位置を確認しました。同窓会としては、弥彦の明訓校の碑の掃除を同窓会員の有志で行



っています。本年も高橋副会長・渡邊淳一副会長、大倉副会長、関口さんの4名で行って参りました。一年間でいぶ草も繁茂し、2時間弱の掃除で終わりました。中学一年生の皆様にはよい立志式が行っていただけたいとは思っていません。

学 校 高 案 内

過去5年間の合格者推移

国公立大学	2012		2013		2014		2015		2016	
	現役	既卒								
北海道	6	1		3	2	3		7	2	
東北	2	3		13		2		8		
山形	7	1	4	4	1	2	1	4	2	
福島	2	1		1		4		1		
筑波	3	4		4	2	4	1	5	1	
埼玉	2	2	1	7	1	2		6		
千葉		5		4		1		4	1	
お茶の水		1				1				
電気通信		1				1	1	3		
東京		3		1		2	1	1	1	
東京学芸	3	4				3		2	1	
東京工業		2				1		1		
一橋				2						
横浜国立	1	1		1	1	2		4		
新潟	67	6	51	8	54	7	58	5	67	9
長岡技術科学	2	1		1		1		1		
上越教育	2	3	2	1	1			1	1	
富山	3	1	1		2		2			
金沢	2	2	1	1	3		4		2	
信州	3	1		3		2	1	3	1	
名古屋		1				1		1		
京都		1		1		1				
大阪		1		2				1		
九州								1		
高崎経済	5	3		1	7		8		3	
首都大東京	2	1	3		2	2	1	1	2	
横浜市立		3					1		1	1
新潟県立	21	4	21	3	36	2	21	1	24	1
新潟県立看護	5	4	1	2	2	3		2		
その他	17	4	18	4	38	6	17	5	34	1
小計	155	22	142	21	192	27	148	17	189	22
国公立合計	177		163		219		165		211	

私立大学	2012		2013		2014		2015		2016	
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
自治医科			2						2	
早稲田	1	3	13	2	9	2	8	3	8	4
慶応			2		9		2		9	1
上智			3		3	3				
東京理科	4	4	3	1	12	1	6	3	5	2
明治	8	1	16	4	23	2	11	4	12	1
立教	7	2	14	1	8	5	4		7	1
青山学院	7		5	1	11	1	6		9	2
中央	18	2	12	5	24	6	17	7	27	10
法政	9	3	11	7	28	9	17	8	12	1
学習院	1		4	1	1		4	1	5	
東京農業	1	2	3	1	5	1	5	5	7	
津田塾			2		2				2	
北里	4	2	4	1	4	1	1	2	2	
芝浦工業	3	3	3		9	5	5		6	1
成蹊	2		2	1	5	3	4	1	2	
成城		2	4		2	1	4	1	2	1
日本	45	2	35	5	33	14	40	9	29	9
東洋	14	5	18	1	19	3	21	3	28	5
駒沢	20	4	20	3	16	4	22	3	15	2
専修	16	4	18	1	24	5	12	9	16	3
明治学院	6	2	11	2	6	5	11	3	7	
獨協			9	7	4	2	10	1	4	
神奈川	18	3	7	1	16	3	13	3	11	1
新潟薬科	27	29	3	21	2	5	7	19	1	
同志社	2	3	7		9	2	8	3	4	2
立命館	4	5	12	2	11	7	14	7	11	1
関西西	1		1		1	2	2	2	2	
関西学院			1				3	1	2	
その他	289	33	248	33	278	49	273	36	287	38
小計	507	85	519	83	591	138	528	122	552	86
私立合計	592		602		729		650		638	

進学指導部
大変健闘した入試結果
東大現浪2名進学
国立医学科現浪9名進学

最近の入試状況と本校の概況

全国の入試状況
 平成28年度大学入試センター試験は、前年差で国語が11点、数学ⅡBが8点アップしましたが、数学ⅠAが6点、化学基礎が8点、化学が9点ダウンしました。その結果、国立型90点満点の平均は、文系では7点アップの

547点に、理系では6点ダウンの564点となり、ほぼ昨年並みの平均点となりました。国立大学入試は、2次試験出願数が47.2万人と一昨年比0.5万人減となり、志願倍率47倍となりました。私立大学入試は、国立大学の文系縮小など

平成28年度大学入試(現役)	東京	京都	北海道	東北	名古屋	大阪	九州	東工	一橋	筑波	難関大合計	国立医学科	早稲田	慶應	私立医学科
合計	1		7	8	1	1	1	1		5	25	6	8	9	7
Iコース			2	6	1	1	1			2	13	1		6	
IIコース													2		4
IIIコース										1	1				
IVコース	1		5	2				1		2	11	5	6	3	3

で併願が増加しました。本校の入試状況
 本校のセンター試験の結果は、文系では59点、理系579点と大変健闘いたしました。合格者は、前年に続きすばらしい結果となりました。現役では、

国公立大学189名合格となりました。東京大1、東工大1、北海道大7、東北大8、名古屋大1、大阪大1、九州大1、筑波大5、新大医学科5、山形大医学科1、早稲田大8、慶應大9など難関大学合格者数も、コース問わず健闘しました。また、国立医学科へ現浪合わせて9名進学しました。生徒が明訓の指導を信じ、目的意識・志望が明確であり、最後まで諦めることなく、当たり前前の学習(予習、授業、復習)を地道に行い、入試問題に対して、どのように取り組めば合格できるのかを具体的に考え学習した結果であると考えます。

現在、現役高校3年生は最初の関門であるセンター試験を目指し頑張っています。同窓生の皆様も暖かい目で見守って頂きたいと思えます。

体育祭

「中高一体」をテーマに！
「連合歌」で盛り上がる！！

去る9月6日、今年度で8回目となる体育祭（MSF）が開催されました。

今年度の体育祭は、「中高一体」をテーマに実施し、これまでの課題であった中学生と高校生の垣根を取り払うべく、さまざまな「二体」を企画したプ

ログラムにしました。当日は、降雨のため一部繰り上げた競技はあったものの、中高生徒会の協力により順調に全日程を終了することができました。

今年度は、昨年同様3つの連合（ピンク連合・黒連合・青連合）



選手宣誓



連合パフォーマンス



背中渡し



明訓大賞 3年7組

明訓生がもてる力を十二分に発揮するに意味の造語です。このメインテーマのもと、来校者と協力して作り上げる大壁画や、自分たちの生活を題材にしたドキュメント映画など、今までにない卓抜な発想で企画された作品が多く見られました。

による体育祭となりました。また、昨年度は、中高別々の観客席でしたが、今年度は連合ごとに中高合同で観客席を設置したことから、今までにない「中高一体」の盛り上がりが見ることができました。

今年度は準備期間が短かったのですが、練習では晴天に恵まれた体育祭となりました。各連合の幹部が、限られた時間の中で校訓の精神を胸に創意工夫を凝らし、その熱意が生徒一人ひとりに伝わり、体育祭の大成功へと繋がったのではないかと思います。体育祭と

去る6月11日、今年も明訓祭が盛大に開催されました。クラス企画では、高校は「教室展示」「教室演劇」「映画」「ステージ」「屋外アート」の五部門で、また中学

は「教室展示」「教室演劇」の二部門で、各クラスが協力し合い発表を行いました。今年のメインテーマは「創始勢120%」。文化的創造性・独創性の高い企画内容を目指し、

平成二八年度
明訓祭
平成28年6月11日開催

いう学校行事を通じて、改めて明訓生のもつ力の大きさを感じさせられました。

また、前夜祭恒例の
リパティスクエアア
は、歌やダンス、新
操といった様々な
の発表で、明訓祭
を大いに盛り上げ
れました。

伝統を受け継ぎ、さ
らに新しいものを生
出していく―明訓生
の多彩さ・能力の高
さがえる、すばらし
い明訓祭となりました。
今年度の受賞クラ
スは次の通りです。

◎明訓大賞

三年七組(映画部門)

◎部門賞

- ・教室展示 二年四組
- ・教室演劇 二年二組
- ・映画 二年一組
- ・ステージ 三年四組
- ・屋外アート

◎奨励賞

三年六組

◎大衆賞

三年二組

◎CM賞

三年四組

◎中学部最優秀賞

二年A組

◎中学部優秀賞

三年C組

◎中学部努力賞

一学年

平成28年度
部活動報告

【運動部】

◎剣道部

《平成28年度春季新潟地区剣道大会》
5/6/7 新潟市体育館

- ・男子団体 優勝
- ・男子個人 第3位 野瀬 大輔

ベスト8 岡田 翔

ベスト16 加藤 準輝

近藤亮拓、熊倉正勝

以上、5名県大会出場

《平成28年度全国高校総体
体育大会剣道大会》6/2/5/4

鳥屋野総合体育館

・男子団体 優勝(3年ぶり)

・北信越大会・インターハ
イ出場

・男子個人 優勝 野瀬 大輔

準優勝 岡田 翔

第3位 近藤 亮拓

以上、3名北信越大会出
場

*優勝、準優勝の2名はイ
ンターハイ出場

《第54回北信越高等学校
剣道大会》6/17/19

加賀市スポーツセンター

・男子団体 第2位

・男子個人 第3位 野瀬 大輔

岡田 翔、近藤亮拓出場

《第63回全国高等学校
剣道大会》8/2/5

岡山県岡山市

・男子団体 予選リーグ敗退

・男子個人 岡田 翔 3回戦進出

野瀬 大輔 3回戦進出

《北信越国民体育大会剣道競技》
8/30 大田市総合運動公園

少年男子

・男子個人 優勝 野瀬 大輔

・男子個人 第3位 岡田 翔、加藤 準輝

3勝1敗の勝者数により
1位で第71回国民体育大会

《平成28年度秋季新潟地区剣道大会》
9/9/10 新潟市体育館

・男子団体 第1位

熊倉正勝・須田友紀・
岡本成実・渡辺 晃・
田中彬登・堀井賢太・
富樫拓海

・男子個人 第3位 須田 友紀

ベスト8 熊倉 正勝

岡本 成実

ベスト16 富樫 拓海

以上、4名は県大会へ出場

《春季新潟・下越地区大会》
5/6/8 新発田市
五十公野公園陸上競技場

男子

・100M 大橋 尚之

・200M 齋藤 健太

・第1位 大橋 尚之

・第7位 藤井 海都

・4×100M R

第1位 齋藤健太・大橋尚之・
藤井海都・大塚稜介

・110MH 今井 淳平

・第2位 今井 淳平

・4×400M R 高橋 亜稀

第2位 高橋幸大・大塚稜介・
高橋亜稀・根立 怜来

・400M 根立 怜来

第3位 大塚 稜介

第8位 大塚 稜介

・800M 荻原 元

第4位 今井 淳平

第5位 高橋 亜稀

・走幅跳 石垣雄太郎

第6位 荒川 康生

女子

・100M 河井 優衣

第1位 大沼 桃香

第6位 山口紗椰香

・200M 大沼 桃香

第1位 大沼 桃香

第3位 大須賀美由

・800M 大須賀美由

第4位 大須賀美由

・4×100M R

第2位 河井優衣・大沼桃香・
小川さくら・山口紗椰香

第2位 小川 梨恵・山口紗椰香・
大須賀美由・大沼桃香

・1500M 吉田 清華

第7位 吉田 清華

第3位 戸前 春菜

第5位 吉野 珠梨

第8位 岡崎 真子

・400MH 酒井 千和

第4位 小川 梨恵

計29の入賞。38名が県大会
出場権獲得。

・200M 大橋 尚之

第2位 藤井 海都

・400M 根立 怜来

第7位 高橋 幸大

第8位 高橋 幸大

・4×100M R

第1位 齋藤健太・大橋尚之・
藤井海都・須藤光祐

・4×400M R

第2位 高橋幸大・根立怜来・
大塚稜介・高橋亜稀

・110MH 今井 淳平

第2位 今井 淳平

・400MH 今井 淳平

第5位 今井 淳平

第6位 高橋 亜稀

女子

・100M 河井 優衣

第1位 大沼 桃香

第3位 大沼 桃香

第1位 大沼 桃香

第3位 大須賀美由

・800M 大須賀美由

第5位 大須賀美由

・1500M 吉田 清華

第7位 吉田 清華

第2位 戸前 春菜

第2位 河井優衣・大沼桃香・
小川さくら・山口紗椰香

第3位 小川 梨恵・大沼桃香・
大須賀美由

・4×100M R

第3位 大橋 尚之

計18の入賞。22名が北信越
大会出場権獲得。

・200M 今井 淳平

第2位 河井 優衣

・400M 大沼 桃香

第7位 大沼 桃香

・4×100M R

第7位 河井優衣・大沼桃香・
小川さくら・山口紗椰香

計7の入賞。9名が全国総
合体育大会出場権獲得。

《全国総合体育大会陸上競技大会》
7/29/8/2 岡山県
総合グラウンド陸上競技場

男子

・100M 大橋 尚之

準決勝敗退 大橋 尚之

・200M 大橋 尚之

準決勝敗退 大橋 尚之

・4×400M R

予選敗退 高橋幸大・根立怜来・
大塚稜介・高橋亜稀

・110MH 今井 淳平

第8位 今井 淳平

女子

・400M 大沼 桃香

準決勝敗退 大沼 桃香

計18の入賞。22名が北信越
大会出場権獲得。

《北陸陸上競技選手権大会》
8/24/25 新潟市陸上競技場

男子

・100M 大橋 尚之

第3位 大橋 尚之

・4×100M R

第6位 齋藤健太・大橋尚之・
藤井海都・須藤光祐

・4×400M R

第2位 高橋幸大・根立怜来・
大塚稜介・石塚秀雪

女子

・200M 大沼 桃香

第4位 大沼 桃香

・800M 大沼 桃香

第4位 大沼 桃香

・4×100MR
第6位
本田菜々・塚本朱璃・小川さくら・小川梨恵
4×400MR
第5位
大沼桃香・大須賀美由・神田あゆみ・亀田彩香

◎サッカー部

《北信越高等学校体育大会》
6/17、19 富山県
日医工スポーツアカデミー
1回戦 対 高志
1-0-0 (福井県1位)
準々決勝 対 市立長野
2-0-0 (長野県1位)
準決勝 対 (石川県1位)
0-2-0
結果 第3位

《第69回新潟県高等学校総合体育大会》
5/28、6/5 五十公野公園陸上競技場 他
1回戦 対 新潟
3-0-0
3回戦 対 日本文理
3-1-0
準々決勝 対 新潟工業
1-0-0
準決勝 2-1-0
決勝 対 帝京長岡
0-1-0 (延長)
結果 第2位

《高円宮杯U-18サッカーリーグ》
新潟県リーグ1部N14/9、10/9
新潟県リーグ2部N14/9、10/9
10勝2分2敗 第2位
プリンスリーグ北信越参入戦出場

《高円宮杯U-18サッカーリーグ》
新潟県リーグ1部N14/9、10/9
新潟県リーグ2部N14/9、10/9
10勝2分2敗 第2位
プリンスリーグ北信越参入戦出場

◎野球部

《第134回北信越地区高等学校野球新潟県大会》
5月3日
2回戦 対 新潟
0-19-2 (5回コールド)
3回戦 対 新潟工業
0-9-3
4回戦 対 糸魚川
0-1-0
準々決勝 対 帝京長岡
0-3-2
準決勝 対 長岡工業
0-2-0
決勝 対 北越
0-11-10
優勝 (悠久山公園野球場)

《第134回北信越地区高等学校野球大会》
6月5日
2回戦 対 啓新(福井)
0-7-0 (7回コールド)
6月6日
準決勝 対 高岡商業
2-1-3 (福井県営球場)
第3位

《第135回北信越地区高等学校野球新潟県大会北支部 一次予選》
8/17 巻 城山球場
1回戦 対 佐渡
0-5-6
(延長10回タイブレーク)
《第135回北信越地区高等学校野球新潟県大会北支部 二次予選》
9/1、5 五泉球場
みどり森の運動公園野球場
1回戦 対 新潟工業
0-7-5
2回戦 対 新潟工業
0-6-5
3回戦 対 新発田中央
0-1-5

《第98回全国高等学校野球選手権新潟大会》
7/8、24 鳥屋野運動公園野球場
HARD OFF ECO スタジアム新潟
2回戦 対 新潟西
0-9-6
3回戦 対 三条商業
0-9-2 (7回コールド)
4回戦 対 十日町
0-7-0 (8回コールド)
準々決勝 対 長岡商業
0-1-0
準決勝 対 巻
0-6-4
決勝 対 中越
2-10
準優勝

《第69回新潟県高等学校総合体育大会》
弓道競技会 6/4、6
新潟市新津地域学園弓道場
団体女子 第3位
呉 万慶・神田南美・山本 滯・若槻真由・桑野美月・丸山カノン・佐藤璃奈
↓第46回北信越高等学校弓道大会出場：4年連続5回目
団体男子 第6位
川上円都・小島遼・栗原理・八幡史久・中川博品・坪野玲也・三木太志
個人男子 第4位
川上 円都
個人女子 第6位
若槻 真由

《第46回北信越高等学校弓道大会》
6/18、19 石川県立武道館弓道場
団体女子 ベスト8
呉 万慶・神田南美・山本 滯・若槻真由・桑野美月・丸山カノン・佐藤璃奈
予選
40射20中→予選5位通過
決勝トーナメント
1回戦 新潟明訓 10-13
↓ベスト8進出

《第37回北信越国民体育大会》
8/20、21 長野県営飯田弓道場
少年女子 第1位
遠的 第1位
近的 第4位
総合 第2位
↓第71回国民体育大会(岩手国体)出場

《第71回国民体育大会》
(希望郷いわて) 10/7、9 岩手県水沢市弓道場
少年女子 山本 滯
遠的競技
予選 105点→7位通過
決勝トーナメント
1回戦 新潟県56点○
岩手県49点×
決勝トーナメント
準決勝 鳥取県56点○
新潟県49点×
3・4位決定戦
広島県42点○
新潟県24点×
↓第4位入賞
近的競技
予選 17中
↓3位通過
決勝トーナメント
1回戦 鹿児島県7中×
新潟県8中○
決勝トーナメント準決勝 愛媛県10中○
新潟県7中×

《第69回新潟県高等学校総合体育大会》
5/27 リージョンプラザ上越
男子団体 ベスト32

《第69回新潟県高等学校総合体育大会》
5/27 リージョンプラザ上越
男子団体 ベスト32

《第69回新潟県高等学校総合体育大会》
女子バドミントン競技大会
6/2 小千谷市総合体育館
女子団体 2回戦敗退
長岡市北部体育館

《新潟支部高校1、2年生大会》
7/17 鳥屋野体育館
男子シングルス
ベスト16 菅野 拓真

《新潟支部高校1、2年生大会》
(BC級)大会 8/12 五泉市総合会館
女子B級シングルス
第3位 成田 柚月
男子C級シングルス
第3位 高久 翔大

《全日本ジュニアテニス選手権》
下越地区予選 4/9、10
新潟市五十六公園テニスコート
男子シングルス
優勝 池内 春樹
ベスト8 小泉 開
優勝 池内 高澤
ベスト8 小湊 諸橋
ベスト16 荒井 遠樹
ベスト8 荒井 遠樹
ベスト16 小湊 諸橋
ダブルス 池内・高澤組
は県大会出場決定

《春季下越地区テニス大会》
4/27、28 新潟市五十六公園テニスコート
男子ダブルス
第3位 池内・高澤
ベスト8 荒井・小泉
ベスト16 小湊・諸橋
山田・池主
男子シングルス

◎バドミントン部

《春季地区体育大会新潟地区》
バドミントン大会 5/4、5 東総合スポーツセンター(男子)
男子ダブルス
ベスト32
齋藤正昂・菅野拓真
2回戦進出
齋藤大雅・渡辺陽大
初回戦敗退
井上悠己・稲村 啓
大川遥史・大越玲哉
齋藤健太・金子康仁
男子シングルス
ベスト32
齋藤 正昂
2回戦進出
菅野拓真・齋藤大雅
初回戦敗退
稲村 啓・大川遥史

《第69回新潟県高等学校総合体育大会》
男子バドミントン競技大会
5/27 リージョンプラザ上越
男子団体 ベスト32

《第69回新潟県高等学校総合体育大会》
5/27 リージョンプラザ上越
男子団体 ベスト32

《第69回新潟県高等学校総合体育大会》
5/27 リージョンプラザ上越
男子団体 ベスト32

◎テニス部

《新潟支部高校1、2年生大会》
7/18 鳥屋野体育館
女子ダブルス
ベスト8 那須野清夏・諸橋菜々香
男子シングルス
第3位 熊木 真優

《新潟支部高校1、2年生大会》
(BC級)大会 8/12 五泉市総合会館
女子B級シングルス
第3位 成田 柚月
男子C級シングルス
第3位 高久 翔大

《全日本ジュニアテニス選手権》
下越地区予選 4/9、10
新潟市五十六公園テニスコート
男子シングルス
優勝 池内 春樹
ベスト8 小泉 開
優勝 池内 高澤
ベスト8 小湊 諸橋
ベスト16 荒井 遠樹
ベスト8 荒井 遠樹
ベスト16 小湊 諸橋
ダブルス 池内・高澤組
は県大会出場決定

《春季下越地区テニス大会》
4/27、28 新潟市五十六公園テニスコート
男子ダブルス
第3位 池内・高澤
ベスト8 荒井・小泉
ベスト16 小湊・諸橋
山田・池主
男子シングルス

第3位 高澤 直希
ベスト8 池内 春樹
ベスト16 荒井 遠樹
ベスト32 小湊 光
池内 有宇斗
山田 有宇斗
〈シングルス 高澤・池内・荒井・小湊・ダブルス 池内・高澤組、荒井・小泉組は県大会出場決定〉

《全日本ジュニア選手権新潟県大会》
5/14、15 新潟市江口テニスコート
18歳以下シングルス
第8位 高澤 直希
18歳以下ダブルス
ベスト8 池内・高澤組

《新潟県高等学校総合体育大会テニス大会》
6/3、5 南魚沼市
大原運動公園テニスコート
男子団体戦
2回戦 vs 小千谷
3回戦 vs 十日町
3位 2勝
準々決勝 vs 新潟第一
0-2
5位決定戦 vs 五泉
2-0
1-2
県6位

男子ダブルス
池内・高澤組
準々決勝敗退 県ベスト8
荒井・小泉組
3回戦敗退 県ベスト16
男子シングルス
池内 春樹
3回戦敗退 県ベスト32
高澤 直希
3回戦敗退 県ベスト32

《国民体育大会テニス競技会新潟県選考大会》
7/9、10 南魚沼市
大原運動公園テニスコート
男子シングルス
高澤 直希 県ベスト16
4回戦敗退 県ベスト16
小泉 開
3回戦敗退 県ベスト32
小湊 光

1回戦敗退 女子シングルス
古田嶋 愛
3回戦敗退 県ベスト32
松井 沙樹
2回戦敗退

《下越地区高校新進テニス大会》
8/1、2 新発田
五十公野公園テニスコート
男子ダブルス
準優勝 高澤・小泉組
ベスト8 小湊・諸橋組
ベスト16 池主・山田
池主 遠藤
渡邊 澁谷組
男子シングルス
優勝 高澤 直希
ベスト4 小泉 開
ベスト16 小湊 光
ベスト32 山田有宇斗
諸橋 達也
松井 真次

《全国選抜一次予選新潟・下越テニス大会》
8/22、23 新潟市江口テニスコート
男子団体戦
2回戦 vs 新潟工業
3回戦 vs 五泉
5-0
準決勝 vs 東京学館新潟
3-0
順位決定戦 vs 新潟第一
0-3
第4位(県大会出場)

《秋季下越地区テニス大会》
8/31、9/1 新発田
五十公野公園テニスコート
男子ダブルス
優勝 高澤・小泉組
ベスト8 小湊・諸橋組
ベスト16 笹岡・遠藤組
渡邊・澁谷組
松尾・池池組
〈ダブルス・ベスト8以上県大会出場〉
男子シングルス
ベスト8 高澤 直希
小泉 開

ベスト16 小湊 光
ベスト32 笹岡 真次
山田有宇斗
諸橋 達也
〈シングルス・ベスト16以上県大会出場〉

《新潟県選手権テニス大会》
9/17、18 南魚沼市
大原運動公園テニスコート
男子シングルス
ベスト16 高澤 直希
ベスト32 小泉 開
男子ダブルス
第3位 高澤・小泉組
女子シングルス
初戦敗退 古田嶋 愛
初戦敗退 松井 沙樹
女子ダブルス
初戦敗退 古田嶋愛・松井沙樹組

《全国選抜新潟県テニス大会》
9/24、25 南魚沼市
大原運動公園テニスコート
男子団体戦
1回戦 vs 小千谷
5-0
2回戦 vs 高田
3-2
準決勝 vs 東京学館新潟
1-3
順位決定戦 vs 新発田
0-3
県第3位

女子団体戦
1回戦 vs 六日町高校
3-2
2回戦 vs 新潟高校
1-4
県ベスト8

《平成28年度全日本ジュニアテニス選手権会》
下越地区予選大会 4/9、10
新発田市五十公野テニスコート
女子ダブルス
2回戦進出 田口垂美・藤田奈央
ベスト8 南 和花・河村宏香
女子シングルス
第1位 田口 垂美

↓県大会出場
第2位 橋爪ひなた
↓県大会出場
ベスト16 古田嶋 愛
ベスト32 河村 宏香

《平成28年度春季下越地区テニス大会》
4/27、28 胎内市
国際交流公園テニスコート
女子ダブルス
ベスト8 田口垂美・橋爪ひなた
尾崎留唯・松井沙樹
2回戦進出 白井望美・稲田菜美
南 和花・河村宏香
辻本咲千夏・山際沙也香
初戦敗退 藤田奈央・古田嶋愛
田中杏奈・諏佐実穂
丸山 菜・五十嵐裕香
女子シングルス
第2位 尾崎 留唯
ベスト8 田口 垂美
橋爪ひなた
古田嶋 愛
2回戦進出 藤田奈央・南 和花
河村宏香
初戦敗退 松井沙樹

《平成28年度新潟県高等学校総合体育大会テニス競技会》
6/3、5 南魚沼市
大原運動公園テニスコート
女子団体戦
1回戦 vs 加茂高校
3-0
2回戦 vs 新潟高校
1-2
ベスト16

《下越地区高校新進テニス大会》
8/1、2 胎内市
国際交流公園テニスコート
女子ダブルス
優勝 古田嶋愛・松井沙樹
ベスト8 河村宏香・田中杏奈
池 姫花・田中綾乃
ベスト16 南 和花・小野千尋
初戦敗退 丸山 菜・五十嵐裕香
香、卯田寿里・山際沙也香、諏佐実穂・辻本咲千夏、鈴木麻由子・長澤芽生
女子シングルス
ベスト4 古田嶋 愛
ベスト16 松井 沙樹
2回戦敗退 卯田寿里、南 和花、河村宏香
初戦敗退 五十嵐裕香、田中杏奈、丸山 菜

《全国選抜一次予選新潟・下越テニス大会》
8/22、23 新潟市庭球場
女子団体戦
2回戦 vs 万代
4-1
3回戦 vs 新津
2-3
5/8位決定戦 vs 新潟中央
3-0
第6位(県大会出場)

《秋季下越地区テニス大会》
8/31、9/1 胎内市
国際交流公園テニスコート
女子ダブルス
第3位 古田嶋愛・松井沙樹
〈県大会出場〉
女子シングルス
ベスト4 古田嶋 愛
ベスト16 松井 沙樹
〈ベスト16以上が県大会出場〉

《平成28年度新潟県高等学校春季ハンドボール大会》
4/30 柏崎市西山総合体育館
春季ハンドボール大会
1回戦 新潟明訓 対 柏崎工業
19-21

《第69回新潟県高等学校総合体育大会》
ハンドボール競技大会兼平成28年度全国高等学校総合体育大会
新潟県予選会 6/4
柏崎市総合体育館
1回戦 新潟明訓 対 柏崎工業
20-23
《バレーボール部》
《平成28年度新潟県高等学校春季地区体育大会》
4/28 新潟市西総合スポーツセンター
男子
新潟明訓 対 新潟第一
11-12
12-25
初戦敗退

《第69回新潟県高等学校総合体育大会》
6/3 新発田南高等学校
新潟明訓 対 加茂
21-17
25-25
初戦敗退

《第69回全日本バレーボール高等学校選手権大会新潟県予選会新潟地区予選》
9/11 巻高等学校
1回戦 対 新潟東
2-0
2回戦 対 新潟
0-2
3回戦(県選手権大会出場決定戦) 対 新潟西
2-0
《新潟県高等学校春季地区体育大会》
4/28 新潟東高等学校
女子
新潟明訓 対 新潟中央
13-25

16 初戦敗退
 18 13 25 新潟県高等学校総合体育大会
 5/28 巻高等学校
 新潟県明訓 対 長岡農業
 初戦敗退

《第69回全日本バレーボール高等学校選手権大会新潟県予選会新潟地区予選 9/10 巻高等学校》
 ・1回戦 対 巻総合
 2-1
 ・2回戦 対 新潟西
 2-0
 (選手権大会新潟県予選会出場決定)

《平成28年度春季新潟地区卓球大会》
 5/6 7 鳥屋野総合体育館
 ・男子団体
 2回戦敗退
 ・女子団体
 1回戦敗退
 ・男子個人
 3回戦敗退
 吉塚大輝
 小林祐輔
 土屋幸大
 1回戦敗退
 豊田蒼太
 立川圭吾
 八雲慎之助
 発熱のため欠場

女子個人
 2回戦敗退
 佐藤楓梨、高澤かりん、鈴木奏子
 1回戦敗退
 竹舎美佳、星野 遥

《バスケットボール部》
 《平成28年度新潟県高等学校春季地区体育大会》
 《新潟地区バスケットボール大会》
 4/23 25 黒埼地区総合体育館
 ・男子
 (予選トーナメント)
 1回戦 vs 青陵高校
 79-66
 2回戦 vs 新潟南高校

70-94
 予選トーナメント敗退
 ・女子
 (予選トーナメント)
 1回戦 vs 吉田高校
 110-19
 2回戦 vs 新潟中央高校
 41-96
 予選トーナメント敗退

《第69回新潟県高等学校総合体育大会》
 平成28年度全国高等学校総合体育大会
 新潟県予選会 兼 第55回北越高等学校
 校体育大会 兼 新潟県予選会 バスケット
 ボール競技会 男子の部 5/29 31
 6/7 小千谷市総合体育館
 1回戦 vs 三条高校
 70-69
 2回戦 vs 関根学園
 55-99

《第47回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会》
 新潟県一次予選会 8/20 21
 新潟東高校 他
 1回戦 vs 中条高校
 不戦勝
 2回戦 vs 柏崎高校
 60-74

《第69回新潟県高等学校総合体育大会》
 平成28年度全国高等学校総合体育大会
 新潟県予選会 兼 第55回北信越高等学
 校体育大会 兼 新潟県予選会 バスケット
 ボール競技会 女子の部 5/27 27
 6/7 新潟市秋葉区総合体育館
 1回戦 vs 西新発田高校
 86-28
 2回戦 vs 新潟中央高校
 35-115

《ダンス部》
 《第69回新潟県高等学校総合体育大会》
 兼 第29回全日本高校・大
 学ダンスフェスティバル(神戸)
 予選会ダンスコンクール及び発表
 会 6/3 4 新潟県民会館
 創作ダンスコンクール部門
 最優秀賞

《第29回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)》
 8/3 6 神戸文化ホール
 高校の部
 神戸市長賞
 (新境地を切り開く独創的な発想の探求に対して)

《第63回NHK杯全国高校放送コンテスト新潟県大会》
 6/15 新潟市音楽文化会館
 ・アナウンス部門
 第3位 伊藤 美優
 第5位 伊藤梨乃彩
 第6位 笛木 志歩
 朗読部門
 第3位 矢部 望美
 第4位 五十嵐梨香
 ラジオドキュメント部門
 第2位
 JKのバースデー事情
 (熊本彩乃が中心に制作)
 テレビドキュメント部門
 第1位
 頂点の先にあるもの(山本 匠が中心に制作)
 創作テレビドラマ部門
 第1位
 愛神(西愛由美が中心に制作)

《第63回NHK杯全国高校放送コンテスト》
 7/25 28 青少年オリンピックセンター
 ・テレビドキュメント部門
 制作奨励賞(21位) 40位
 相当
 頂点の先にあるもの(山本 匠が中心に制作)

《吹奏楽部》
 《第57回新潟県吹奏楽コンクール》
 8/6 上越文化会館
 ・課題曲Ⅳ
 「マーチ「クローバ」グラーウ
 ンド」
 ・自由曲
 「天の御中主神」吹奏楽の
 ための神話
 金 賞・新潟県代表とし

て西関東吹奏楽コンク
 ル出場権獲得
 9/4 群馬県民会館
 銀 賞

《第22回西関東吹奏楽コンクール》
 9/4 群馬県民会館
 銀 賞

《書道部》
 《第20回全日本高校・大学生書道展》
 8/16 21 大阪市立美術館
 ☆展覧 佐々木温子
 ☆総覧 佐々木温子
 出品総数 一一、〇五一点中
 三三九点
 《岐阜女子大学全国書道展》
 9/18 19 岐阜女子大学
 ☆書道展賞 佐々木温子
 ☆出品総数 一一、六五四点中
 一〇五一点
 優秀賞 安中 舞
 参宮 愛莉

《写真部》
 《新潟県高文連写真専門部》
 《第20回撮影大会・新潟大会》5/20 21 じよいあす新潟会館・新潟市北区文化会館 撮影・新潟市内参加者
 顧問 43校 生徒542名
 県内60名 合計602名
 上位70名が入選・入賞
 大賞(上位3点)
 長谷川祐依、佐藤まりん
 特 選(上位9点)
 佐藤 杏子
 奨励賞(上位18点)
 西川 僚哉
 入 選(上位40点)
 小田祐実、大関啓史、田林 萌、黒田瑞樹、高橋美帆、名古屋美月

《将棋部》
 《第25回新潟県高等学校将棋大会》
 5/7 新潟高校
 ・男子団体
 第1位 藤崎・川崎・天井
 第3位 山田・小宮山・須貝
 ・男子個人
 4名とも予選リーグで敗退

遠藤 溪、阿部千夏、入澤莉音、和田葉都樹、渡辺珠緒
 《全国高等学校総合文化祭広島大会》
 7/29 8/2 広島県 広島市、廿日市ほか
 全国大会出場者 1名
 受賞該当無し
 遠藤 溪 カラー作品

《新潟県高文連写真専門部》
 《第30回写真専門部展二次展覧会》
 9/17 18 長岡市高齢者センター「ふせき」 県立三条高校会議室
 参加者
 県内52校 生徒607名
 出品数2691点
 ・個人モノクロ作品1066
 点中上位220点が入選
 ・個人カラー作品1590点
 中上位230点が入選
 ・入選モノクロ34点・カラー36点(合計70点)
 ・個人モノクロ・カラー共に上位80点が入賞候補
 ・入賞候補モノクロ18点・カラー11点(合計29点)
 共同制作部門 出品数35点
 最優秀賞(1位に該当)
 奨励賞1点(4位) 6位に該当
 入選3点(7位) 16位)

《囲碁部》
 《平成28年度新潟県高等学校文化連盟春季囲碁大会》
 5/22 県立新潟高等学校
 ・個人戦Bブロック
 第3位 小宮山 蓮
 初段認定
 ・個人戦Fブロック
 第10位 佐藤 舞
 14級認定

《文芸部》
 《全国高等学校総合文化祭》
 広島大会 7/30 8/3
 福山大学宮地茂記念館
 ・詩部門
 奨励賞「胎内」
 高山 華

《演劇部》
 《平成28年度新潟県高等学校総合文化祭演劇部門下越地区A発表会》
 9/3 4 新発田市市民会館
 優良賞、審査員特別賞

2回戦 明訓 対 青雲(長崎)
 1-2
 3回戦 明訓 対 弘学館(佐賀)
 3-0
 4回戦 明訓 対 ラ・サール(鹿児島)
 0-3

《第30回新潟県高等学校総合文化祭》
 棋部門 第25回全国高等学校文化連盟将棋新人大会・新潟県大会
 11/6 県立新潟高等学校
 予選リーグ通過(参加4名全員)
 決勝トーナメント進出
 入賞なし

《生物部》
 《全国高等学校総合文化祭広島大会》
 7/30 8/1 広島県広島大学
 全国大会出場者 2名
 遠藤 慎、飯濱 圭

《文芸部》
 《全国高等学校総合文化祭》
 広島大会 7/30 8/3
 福山大学宮地茂記念館
 ・詩部門
 奨励賞「胎内」
 高山 華

《演劇部》
 《平成28年度新潟県高等学校総合文化祭演劇部門下越地区A発表会》
 9/3 4 新発田市市民会館
 優良賞、審査員特別賞



全国大会への道 陸上競技部 岡山インターハイに出場して

陸上競技部 今井淳平

昨年の二年生で出場した和歌山インターハイでは、今まで全国大会の経験も皆無であったことから、出場すること自体に満足していたように思います。そんな心構えであったので当然ながら結果は予選敗退で全く自分らしいパフォーマンスをす

ることができませんでした。三年生での最後のインターハイに賭ける思いがより一層強くなった大会となりました。

そして、高校生活の集大成となる今回の岡山インターハイでは、アクシデントもありましたが、何とか八位となり、念願の「全国入賞」を達成することができました。

その要因として様々なことが挙げられますが、中でも大会ごとに自己ベストをマークするなど今シーズンのパフォーマンスが安定していたことが挙げられます。今シーズンは向かい風のレースになつたのですが、全国の競技力を

有しているライバルたちと競い合うことで全国ランキングに入る記録をどんな条件下においても安定して出すことができませんでした。また、公式戦初戦となる地区大会から競技力の高いライバルと「競り慣れる」ことができたことも大きな要因であったと思います。

このような実践感覚で身につけたスキルが実り、インターハイの準決勝では向かい風の中、自己ベストタイムで競り勝ち、決勝へ進出することができました。特にレース終盤に大腿部を怪我するアクシデントに見舞われましたが、自分でも不思議なくらい冷静に走り続けることができました。

しかし、準決勝を無理してゴールした代償は大きく、肝心の決勝では何とか失格にならないように完走することが精一杯の状況でした。決勝で勝負できなかったのは、本当に言葉では言い表せないほど悔しかったです。しかし、高校入学時から考えれば、想像がつかないほどに力をつけることができたと思えます。それは先生方をはじめ様々な方々の支え

現在、剣道部は男子18名、女子1名の合計19名で活動をしていきます。今年のチームは、新チームになってから新人大会優勝、北信越新人大会優勝、春季新潟地区優勝と例年になく好成績をあげてきました。しかし、今年1月に行われた全国選抜大会予選で決勝戦で惜敗し2年連続の選抜大会出場を逃し悔しい思いをしました。「全国で勝つ」ことを目標としていただけに非常に落ち込みました。そんな中で、生徒たちのインターハイにかける思いは並々ならぬものがありました。

剣道部 2016情熱疾走 中国総体に出場して

剣道部顧問 玉虫一憲

6月に行われた新潟県高等学校体育大会(インターハイ予選)では、初日、男子個人戦で野瀬大輔が優勝、岡田翔が準優勝、近藤亮拓が3位とベスト4の3枠を明訓剣道部が占め、インターハイ出場枠の2つを独占しました。また、岡田翔は昨年、連続の2年連続の出場になりました。そして団体戦。



があり、恵まれた環境の中で努力できたからこそ「全国入賞」という目標を達成することができたと思います。ありがとうございました。今後は「全国入賞」ということに満足させ

ず、逆に決勝で不甲斐ないパフォーマンスにならないで済ませた悔しさを忘れず、大学のステージで大きく飛躍出来るように更なる努力を重ねていきたいと思

決勝戦まで順当に勝ち進み、相手は選抜予選の決勝と同じ新潟商業高校。試合はもつれて1-1の同点で代表決定戦へ。これも選抜予選と全く同じ展開。お互いの大将が代表としてチームの勝敗をかけて勝負することになりました。明訓チームは、この展開で選抜予選を負けているので緊張感が高まります。あと一本で全国への切符が手に入ります。勝負は一瞬でした。開始直後に、野瀬が相手から得意の面で一本を奪い、この瞬間、明訓高校の3年ぶりの優勝、インターハイ出場が決まりました。いまでも、この瞬間の感動は脳裏に焼き付いています。

いよいよ、インターハイ。会場は岡山県ジュニアナ岡山県で、またしても新潟商業と決勝戦で対戦し、このときは敗れてしまい準優勝。しかし、新潟県の代表として九州遠征などを重ねて、インターハイ本番に臨みました。

男子個人戦では、野

瀬・岡田両選手は1回戦から自分の力を一杯に発揮し3回戦まで駒を進めることができ、ベスト32という成績でした。団体戦では、予選リーグで三重県代表の三重高校と対戦し1-1の引き分け、秋田県代表の秋田南高校と対戦し1-2で惜敗しリーグ突破はかきませんでした。改めて、

全国大会の壁の高さ、全国で勝つことの難しさを痛感させられました。今年で、剣道部としては個人戦・団体戦を合わせて8年連続のインターハイ出場となります。今回の経験やこれまでの経験をふまえて一層精進していきたいと考えています。最後に、

いたいだいた大滝校長先生、保護者、OB・OG諸先輩方、本当にありがとうございました。また、インターハイ出場に際しまして応援をくださった多くの方々はこの場を借りて御礼を申し上げます。これからも新潟明訓高校剣道部を宜しくお願

ダンス部 全国大会で ベスト4受賞

ダンス部主将 3年 長谷川 美海

私たちダンス部は、8月3日〜6日に行われた第29回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)において、作品「僕達のボロボロ―臆病者よ、さらば!―」を上演し、ベスト4に値する神戸市長賞を受賞することができました。

昨年12月、世界的に有名なバレエ作品「ボロボロ」が新潟で上演され、部員達で鑑賞したことをきっかけに今回の作品を創作し始めました。普段の生活のなかで、一注目されたく

ないから、失敗したくないから周りに合わせるでおこう。」と自分の意見を隠すことがあると思います。そういった人間関係の中で、誰もが一度はしたことのある裏切りや自信のなさ。この作品では、そんな他人の目を気にしていた弱い自分が、周囲の視線に左右されない強い自分に変わっていく様子を表現しました。踊りや構成だけでなく、小道具に使った赤いマットで「注目を浴びる場所」を作り、観客の注目を惹き付け

るような工夫をしました。作品として「他人の評価を恐れる臆病な僕から、挑戦を楽しむ強い私になる」様子を表現するために、まずは自分自身の卑怯で弱い部分と向き合う必要がありました。メンバー一人一人が他人には知られたくない過去の自分をさらけ出し、今後どんな自分になっていきたいのか自分に問いかけ、納得のいくまで気持ち深める作業に時間をかけました。目を背けたい過去を見つめることは決して簡単なことではなく、涙をこらえながらメンバーと話し合うこともありましたが、今回の作品を表現する私たち自身が、弱い自分から抜け出すことで、誰かの心を動かすような作品に

仕上げる事ができたと感じています。この一年は、昨年度の結果である「全国優勝」という大きなプレッシャーと戦った年でもありました。注目されることの恐怖を誰よりも感じていた私たちであったと思います。だからこそ、この変えられない事実をチャンスと捉え、作品の力を借りて乗り越えられたのだと考えています。大会を通して私たちに助けられ、支えられていることを改めて感じました。いつもご指導くださる先生方や卒業生の先輩方、支えてくれる家族や友人、地域の皆様など応援くださる全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。それぞれが新たなスタートをきり、これ

からも日々精進していきたいと思えます。たぐきさんのご声援、ありがとうございました。



全国大会でベスト4受賞

放送部 全国大会に出場して

放送部顧問 梅田 愛子

放送部はこの夏、二つめの全国大会に出場しました。一つは、第四十回全

国高等学校総合文化祭
 広島大会です。この大
 会には、朗読部門より
 三年生の五十嵐梨香、
 アナウンス部門より三
 年生の伊藤美優、二年
 生の伊藤志歩、オーデ
 イオピクチャー部門よ
 り『好きを突き詰め
 る!』が出場しました。
 もう一つは、今年で
 二十三年連続出場とな
 るNHK杯全国高校放
 送コンテストです。こ
 の大会には、朗読部門
 より三年生の五十嵐梨



先にあるもの』が、出場
 しました。このうち、
 三年生の山本匠を中心
 に制作した『頂点の先
 にあるもの』が、本校
 四年ぶりの準決勝進出
 を果たし、全五七八作
 品中、上位四〇校に授
 与される制作奨励賞を
 受賞しました。この作
 品は、昨年度全国の頂
 点を極めたダンス部の
 新部長を追い、その葛
 藤と成長を映し出す八
 分間のドキュメンタリ
 ー番組です。制作は昨

香、二年
 生の矢部
 望実、ア
 ナウンス
 部門より
 三年生の
 伊藤美
 優、二年
 生の伊藤
 志歩、ラジ
 オドキュ
 メント部
 門より
 『JKの
 パースデ
 ー事情』
 『ラジオド
 ラマ部門
 より』『愛
 神』、『テ
 レビドキ
 ュメント
 部門より
 『頂点の

全力を出し切り、近
 年最高の結果を残した
 先輩たちから襷をつな
 いだ明訓高校放送部。
 仲間思いで、優しく、
 ひたむきに夢を追いか
 ける先輩たちの背中を
 見てきた後輩たちは
 今、自分たちが抱える
 課題に真剣に向き合っ
 ています。伝えるとい
 うことの難しさやその
 意味を模索し、自分た
 ちにとって最良の答え
 を見い出せる日まで走

年九月から始まり、合
 計百時間を超える取材
 を重ねた末に完成しま
 した。制作チームの代
 表である山本くんは、
 昨年のNHK杯での悔
 しさをバネに、次の大
 会で上位を目指すと言
 言し、見事にその言葉
 を現実にしてみせまし
 た。大会を終えた山本
 くんはこんな風に話し
 ています。「制作のあ
 る段階から、結果を求
 める以上に、取材先で
 受けとった「思い」を
 ただ純粹に伝えたいと
 思うようになったんで
 す。伝える、というこ
 とだけを必死に考え
 て、完全燃焼すること
 ができました。だから
 こそこまで来られた
 し、多くの方に作品を
 見ていただけて本当に
 幸せです。」

今年度、囲碁・将棋
 部は一年生が部員の半
 分を占め、団体メンバ
 ーにも一年生が入り、
 た。今年度、囲碁・将棋
 部は一年生が部員の半
 分を占め、団体メンバ
 ーにも一年生が入り、

り続けます。
 最後になりました
 が、全国大会出場に際
 しまして多くの方々か
 らご支援をいただきま
 したこと、心より御礼
 を申し上げます。
 ある明訓高校放送部の
 名を全国に響かせ続け
 ることができるよう、
 これからも精進して参
 ります。

囲碁・将棋部
第40回全国文祭に参加して

囲碁・将棋部長 藤崎 開

県大会、全国大会とも
 に一年生の活躍の見る
 べき大会
 行われた
 8月
 で行われ
 た大会
 全国大会
 では、二
 年前果
 せなかつ
 た予選突
 破を目標
 に掲げ、
 団体メン
 バー一丸
 となつて
 大会に臨
 みました。
 結果は1
 勝3敗で
 予選敗退
 と残念で
 したが、
 一、二年



生にとつては良い経験
 になり、三年生は高校
 の最後に全国大会に出
 場することができて大
 変満足しています。
 今までご指導くださ
 った顧問の先生方や先
 輩方、多方面にわたつ
 て支えて下さった学校
 関係者の皆さん、応援
 して下さいました。皆
 様に感謝を申し上げ
 るとともに、これから
 も日々研究を重ね、棋
 力向上を目指してい
 たいと思います。今後
 とも囲碁・将棋部をよ
 ろしくお願いいたしま
 す。

文芸部 広島総文祭に参加して

文芸部顧問 田島利也

二〇一五年度の新潟県高等学校文芸コンクールにおいて、本校文芸部員である高山華の詩『胎内』が詩部門の奨励賞を受賞しました。これによって、今夏広島県で開催された第四十回全国高等学校総合文化祭に、新潟県代表として参加しました。本校文芸部は今年で三年連続の出場となります。

『胎内』は、高山さんが敬愛する作家夢野久作の作品と生物学者ヘッケルが唱えた『反復説』に触発されて書いた詩です。ヘッケル

は「個体は生まれるまでに今までの進化の過程を繰り返す」と言いました。この詩は、母親の胎内で胎児がその進化の過程について思いを巡らすという内容です。情緒的、感性的な詩作品が多い中で、知的でミステリアスな高山さんの『胎内』は、ひととき異彩を放つ作品として存在感を示していました。

文芸部門の開催地は広島県の福山市でした。七月三十一日から八月三日までの滞在でした。広島夏の暑さは新潟のそれとはとて

も比較にならぬほど厳しいものでしたが、今振り返ると、その暑さでさえも、もう懐かしい思い出です。

開催期間中、参加したさまざまなイベントを通じて、全国から集まった文芸部の生徒諸君と交流・親睦を深めることができました。あつという夏の三泊四日でしたが、生徒も顧問も充実した時間を過ごすことができました。

生物部

二大会連続 全国大会に出場して

生物部部长 遠藤 慎

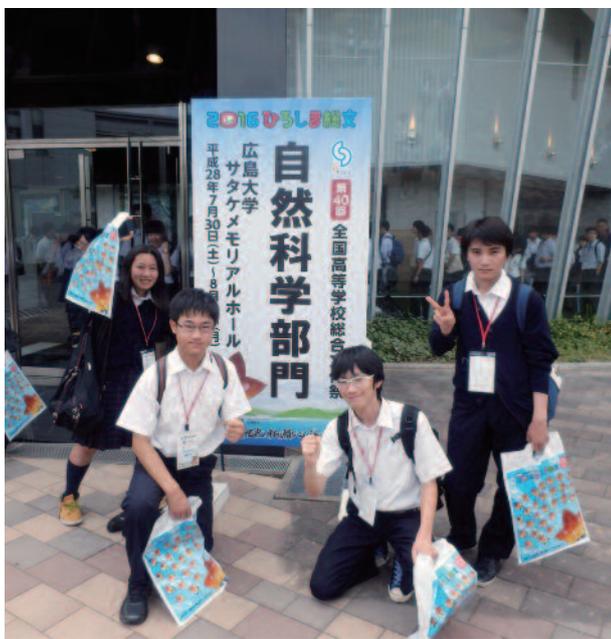
た。このような有意義な経験を持つことができ、また、多くの方々からの様々な応援があったこと、であり、この場をお借りして心より御礼申し上げます。文芸部は、文武両道を標榜する明訓の伝統を受け継ぎ、今後も創作活動に真摯に取り組んでまいります。

今年の全国高等学校総合文化祭自然科学部門は、東広島市の広島大学での開催となりました。昨年出場した全国大会の際の研究からさらに発展させ、新潟県に侵入したエビの種類を突き止めることができたため、三年間の研究の集大成を発表する気持ちでこの大会に臨みました。

今年の全国高等学校総合文化祭自然科学部門は、東広島市の広島大学での開催となりました。昨年出場した全国大会の際の研究からさらに発展させ、新潟県に侵入したエビの種類を突き止めることができたため、三年間の研究の集大成を発表する気持ちでこの大会に臨みました。

ことである。二つ目は話しかけることができるように努めました。発表には制限時間があるため、簡潔に話すことを心がけました。加えて、時間通りに進まなくなった時のことを考え、スライドごとに必ず話さなければいけない内容をまとめ、最低限のことは伝えられるよう心がけました。

文に心を持ったり、理科年表に記されているデータに疑問を感じてそれらの検証を行った研究などもあり、とても驚きました。今回の大会では結果的に入賞することはできませんでしたが、これまでの発表の中で間違いなく一番良い発表になりました。研究成果をまとめたこのような大会に出場できたのも、日頃から研究を見ていただいた先生方をはじめ、今まで応援して頂いた多くの方々のおかげだと思っています。ありがとうございます。



写真部 広島絵文祭に参加して

写真部顧問 森本康裕

昨年度の「第二十九回専門部展」で一年生部員の遠藤溪が全国総文祭への出品者として推薦を受けました。例年通り、同伴の生徒も募り、顧問を含め、八名で参加して参りました。

七月二十九日より八月二日まで、広島市の国際会議場をメイン会場に、廿日市の宮島や尾道の千光寺周辺での撮影会にも参加しました。真夏の瀬戸内の独特の蒸し暑さは耐えがたいもので、水分補給や日陰を探してこまめに休憩をとりながらの屋外活動となりました。昨年の滋賀大会では連日の夕立に悩まされましたが、広島はとにかく暑さが強烈でした。宮島では、干潮時と満潮時の両方の景観を撮影するため、二日間足を運びました。浅瀬に浮かぶ厳島神社の優雅さと、干潮時にくぐる大鳥居の迫力は見事で、同じ場所とは思え

ませんでした。自然の力は凄いです。尾道はロープウェイで千光寺まで登り、潮風を肌感じながら、美しい瀬戸内海の景色を眺め、撮影することができました。



屋内活動では全国写真展の作品を鑑賞し、様々な作風や構図、色遣いに刺激を受け、また、地元出身の写真家の講演に耳を傾け、今後の写真撮影に対して深く考える機会を得るなど、大変貴重な時間を過ごしました。その他にも、他県の出品者と直接触れあう生徒交流会を通して良き思い出作りもできたようです。四泊五日の盛りだくさんな日程は、あつと

いう間に過ぎました。いままでにはないような経験が、生徒たちには大きな財産になると思います。広島は、口を揃えて「いいところ」と言われています。どこの島も、大きなお宝が隠れているように感じます。この機会に、家族の思い出を撮りたいですね。

め多くの方々からの応援や協力があったからこそ、このこと大変ありがとうございます。

書道部 全国高等学校総合文化祭に参加して

書道部 佐々木温子

今年、広島県で開催された全国高等学校総合文化祭、書道部門に出席しました。昨年度行われた新潟県高等学校総合文化祭で推薦されていた上での参加でした。私は、書道を始めて十一年になります。その間、様々な書展やコンクールに出展してきました。

作風に魅力を感じ挑戦してみたいと思いました。墨の濃淡や中心の変化に気を配りながら書くのが難しく、試行錯誤を繰り返しました。納得のいかない点はありませんが、自分のできる精一杯の作品を仕上げることができました。

た。感謝の気持ちを持って、今後も作品作りに励んでいきたいと強く考えています。

今回は、十一年間の集大成、また県の代表として、今までとは違う特別な思いで作品制作に取り組みしました。出品にあたり選んだ作品は、中国明代の書家、王鐸の「臨王筠寒凝帖軸」という作品です。流れるような連続線と型にと



広島では、出品作品の展示館に行き、全国から集まった作品を鑑賞しました。どの作品もレベルが高く、圧倒されました。また、飾られた自分の作品を見ることで、今まで気付かなかった点やさらに工夫できる点を知ることができました。全国入賞の目標には届きませんでした。様々な事を吸収できた良い経験でした。今回、このような機会をいただけたのは、ご指導くださった乙川先生をはじめ、家族や部活の仲間、今まで応援してくださった全ての方々のおかげです。ありがとうございます。

終身会費納入者御芳名

(敬称略)

平成二十八年八月三十一日現在

平成28年卒
全日制第67回

長西成仲永出竹高鈴杉白澁佐坂齋小幸小木菊川川上金加柏伊石石赤青 1組 (44名)
谷川川澤川井口部橋木山倉屋藤上藤林田池村池崎上村谷藤木藤山田柴柳
慈敬千舜雄花裕杏桜康幸大佑冬綾拓純 こなつ 優遥南順 涼鉄夢雅直菜遥
生正晶祐大衣貴美子太弥地哉華乃也平つ斗香奈也葵青音郎衣樹輝侑奈

近昆小小劔桑杵北加落岡大大稲稲伊石池池五飯荒阿 2組 (44名)
藤 林島物野鞭野藤合本野内野家藤野田田嵐沼井部 部辺邊邊本本田崎内 間 原
ひより 真裕 詩 遥 悠寛智 聖瑠 賢莉尚晃) 雅真菜健江亜生 祐泰大智健
朋り真讓成太慶織紳風舞峻司太也玄也伽翔弥乃哉大 也璃月斗里美萌恒人史輝音志

櫻小粉久神金金小沖大市石伊飯飯 3組 (32名)
井山川保田子子野野竹村川田濱田 (32名) 本堀堀古廣濱波島野中永遠土田竹高高佐佐佐 佐々々
み 寛遼基 周博 友 由 拓) 里将拓美遥伶美美拓芽琴和恭 美 美美光和京
み匠章河生睦平志舜喜陸佳陸悠椰 穂太実子香奈希奈哉依乃起平研帆光佑咲紗生香

森樋平長野中中竹武滝鈴志佐作小小小小木金加片賀落太大河内並山上垣 4組 (33名)
岡渡松川口村田村田山見田藤田山林池村澤藤桐川合田内並山上垣 (33名) 涌若吉山山本帆 野中中東千大佐佐佐
沙繪南 優拓一梨俊直泰知克 啓彩優帆真倫丈 ひ真泰佳佑 夏) 夢雄万結優 エレナ 真美瑞帆乃磨 愛 萩
季奈月耀郎哉基乃平哉河哉哉篤楓悟乃郎希帆郎徳群り行佑輔奨澄 人郎作衣希陸元ナ 佳優基香人凌惠隆陽

渡與山森桃目宮宮町本樋原野西中戸程田高高杉白清篠三佐齋小松小小兒小北小野伊伊伊石石五十浅相 5組 (44名)
辺口崎田井黒下腰田望口田沢川川崎 邊橋木崎川水田條藤藤原林林玉池村村野塚川藤藤藤田井風見澤 (44名) 渡渡山
唯健理淳亮 硬 充亜貴こ壮佳 聖浩悠優く円美結百菜桃和芽美菜瑠詠真未 雛 眞陸 伶緒奈 里晴和賢 一 子陸史
吹斗歩平輔司企更武季太ろ人佑樹直毅也介み子生希杏月子香衣郎花海太理夏亮子悠吾太 奈美律一 子陸史

青藍 7組 (44名) 渡渡米吉吉山山山諸真本本星古古藤笛畑長富寺田高高関鈴佐笹坂齋小木木加角小長今猪井五安阿阿 6組 (44名)
木木 (44名) 邊邊谷田田中田田橋島間間野山田井木山島田澤中橋橋 木藤田爪藤林村村藤張澤田井飼上風藤部部 (44名)
結爽) 美康美良萌柚有ちひの 大莉海蒼雪浩俊瑞美佑呀卓菜雄七桃 麻倫 和莉友円優智将朝優千隼眸礼 拳) 佳香 桜太穂太華依花ろか輔奈朱弥乃也生歩穂輝香磨奈悟海花由央子萌希奈子美菜紀汰登汰智介実重修也

井阿浅赤相 8組 (46名) 涌山山山矢八森星花波中柄坪知田田瀧高高高高関澁齋近後郷熊木菊川加勝小岡大岩石石石阿明
口部香澤田 (46名) 井本口口尻雲田 澤塚野澤井野中中澤橋橋橋尾 谷藤藤藤内倉下地上藤又野村滝満川垣井部 田川
文晃太菜涼 (46名) 誉哲莉雄俊凌美千佑七咲創大亜絢 里 菜真美 廣 新麻優真時美 俊虎緑寛春のみ光柚愛彩
郷大平美汰 幸平乃大郎朗咲尋兒菜輝郎河理子彩和奈優子帆聡開大光吉弥斗歩矢月翼哉郎香郎菜里唯花奈奈

梅五石池阿阿 9組 (29名) 渡山矢村武三卷本本樋早馬花長二中中土土土田田高鈴杉杉白洪齋小小木川河加勝小海白猪五
田田原田部部 (29名) 辺田川田藤富口間田山川場岡川堂村嶋田田田辺中橋木山田井木藤林池村口合藤海熊名井爪
拓佑竜早裕愛) 裕登瑚真 美公宗紗太龍一恭 亮美大佳杏大和伶多千貴克 大 直風健樹 光崇 直至
弥也兒紀太美 馬郎都一翔駿穂輔彰子朗大臣平光朗穂洋奈智真大恵明紀秀理樹廉樹輝郎里潤朗矢剛人恩楓

藤樋東簾永田武田白佐櫻古小小五河菊加大大石安阿東 10組 (40名) 和山山古平立瀬須白佐佐佐櫻坂坂齋黒木女小小大江
野口山本野原田頭砂藤井俣林池井本部藤矢津川藤部 田崎際澤岩川野田川藤藤藤井田井藤山山川柳塚澤田
智寛裕 鈴由直沙江雅祐あ佳瑞愛尚杜万康歩 悠 達) 穂周倫駿優瑠優 諒祐直大志 勇真 優優伶亜 諒
弘太輝伶佳望之彩梨也希か奈希梨之行渚朗未諒郎観美 波平郎磨弥司奈遥太輝輝輔歩純輝唯彩哉香那子葵子

藤平原中永中中豊武高高末佐佐笹今昆轡亀金笠風甲落尾池池五井安秋 11組 (38名)
田野田山松野島岡田橋橋武藤藤川藤 田山澤松間斐合崎田田嵐浦中山 (38名) 渡渡四森森武水水丸松増本星古船船
拓道和統梨 由愛堯侑奈勇美恵遥雄和健武万 大 優七涼拓寿悠穂結) 侑日 繪洵 恭羅 彩広玲拓 健
海寛則朗奈諒香弥憲里那史香菜名太希太尊莉楓輝匠希緒子磨衣陽佳月 実和周子朗輝佳々仁花海江哉颯吾涼

同窓会ホームページと交流掲示板

同窓会ではホームページを開設しています。同窓会総会のお知らせなどはホームページでお知らせ致します。ぜひ一度、同窓会ホームページをご覧ください。

また、ホームページ内に「交流掲示板」を開設しましたので、このサイトは明訓同窓生の部活、OB、OGの活動情報や同期会情報など自由な情報交換の場としてご利用下さい。

<http://niigata-meikun-dousoukai.com/index.html>

宮前 山森山吉渡
山田 木田田部
悠一 聡和綾浩
仲介 希音史輔

安井 飯遠大岡乙
達 島 関 藤 嶋 森 川
康 千 太 夕 郁 一 夢 侑
晴 智 一 輝 海 輝 正

片柄 北喜桑 斎齊 椚
山 澤 神 藤 原 瓶 藤 井
希 勇 桃 雄 志 亨
望 斗 子 介 叶 菜 奈 丞

佐 三 嶋 白 平 高 高 高
藤 雄 由 穂 有 悠 祥 真 佑
な 貴 依 南 希 太 子 士 佳

高 高 高 高 高 高
取 橋 澤 屋 上 瀬 野 間 井
知 侑 冠 航 和 一 彩
輝 也 太 遼 世 仁 威 行 夏

宮 八 山 山
本 木 田 本
侑 郁 幸 瑞
紀 矢 一 彬 曉 郎

平成二十七年 度 会費納入状況

◎入会金

全日制67回生 478名
四七八、〇〇〇円

◎終身会費

全日制67回生 478名
二、三九〇、〇〇〇円

◎合計

二、八六八、〇〇〇円



会務報告

一 会議

(一) 総会

平成27・11・7(土) 16:00
於 新潟東映ホテル
・アトラクション 17:00
新潟明訓高等学校 吹奏楽部による演奏

・懇親会

17:40
昭和49年卒の皆様への「還暦のお祝い」
ジャズタイム
昭和56年卒 ジャズシンガー
熊倉由美さん出演

(二) 常任委員会

平成28・4・21(水) 18:30
於 ホテルオークラ新潟

・平成28年度 総会開催について

協議
平成28年度 収支の見直しについて
・常任委員の拡大について

(三) 役員会

平成28・2・26(金) 19:00
於 ホテルオークラ新潟

・平成27年度 事業及び予算について

平成28年度 総会開催について
・常任委員の拡大について

平成28・4・13(水) 19:00
於 じよいあす新潟会館

・平成28年度 総会開催について
平成27年度 第1回常任委員会開催について

平成28・9・28(水) 19:00
於 じよいあす新潟会館

・平成28年度 総会開催(アトラクション、懇親会)について

二 その他

平成27・10・3(土) 12:30
於 太閤園

・関西新潟明訓会 総会・懇親会が開催される
本部より大倉副会長、首都圏新潟明訓会より秋葉会長が出席、学校より太田副校長の出席をいただく

平成27・11・1(日) 11:00
於 ロイヤルパークホテル

・首都圏新潟明訓会総会・懇親会
1デーが開催される
本部より渡辺会長・渡邊(淳)・林副会長、関西新潟明訓会より阿部副会長が出席、学校より大木副校長の出席をいただく

平成28・2・18(木) 19:00
於 ホテルオークラ新潟

・新年懇談会(学校管理者及び同窓会担当教職員の方々を招いて)